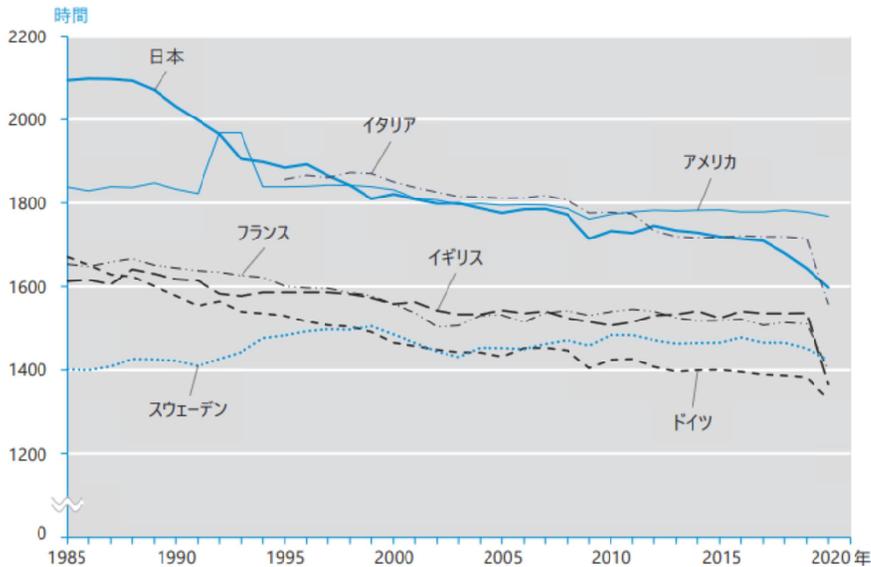


# 労働時間短縮で人間らしい生活を



図表2 年間総実労働時間（就業形態別）とパートタイム労働者比率

労働時間短縮は人間らしい生活をするために不可欠です。しかし日本の労働時間は、他国と比べるとまだ長い結果となっています。

**ヨーロッパ諸国との比較**

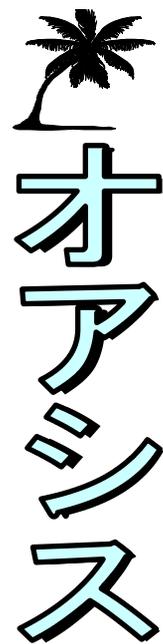
国際労働比較データベースの一人当たり年間総実労働時間（左上図）によると、日本の労働時間は2020年に1598時間となっており、それなりに時短が進んでいるように見えます。しかし日本で時短が進んだのは1990年代であり、それ以後も進んでいるように見えるのは、パートタイム労働者が増加したからです。一般労働者についてはずっと2000時間程度で推移していま

す。（左下図「毎月勤労統計」）

**労働時間が長い理由**

国際労働基準のILO第1号条約（労働時間を1日8時間に制限する条約）に日本は批准していません。労働基準法32条には「労働時間は1日8時間を超えてはならない」と規定されていますが、第36条で労働組合（労働者代表）と使用者で協定を締結すれば、法定労働時間を超えて労働を延長させることができるというものです。これが第1号条約が未批准である大きな要因となっていると言われています。ILO第1号条約を批准し、労働時間短縮を進める法規制などの対応が求められます。

日立ジョンソンコントロールズ空調  
と関連会社で働く  
人のネットワーク



2023年4・5月

No. 98

発行：オアシス

編集委員会

連絡先：多田義幸

TEL

090-9121-0602